



全国生協労働組合連合会  
闘争情報 2079号

2012年1月30日(月)

〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷 4-1-9

TEL 03-3408-0067・7695

<http://cwu.jp/>

## すべての働くなかまにディーセントワークの実現を 2012年・地連春闘組合学校

### 【東北地連】

16単組90人の参加で開催されました。記念講演は、福島大学経済経営学類の小山良太准教授より、「東日本大震災・福島原発後の情勢と協同組合への期待」と題してお話いただきました。チェルノブイリの視察にも行かれた先生からは、現地の状況、協同組合間の共同の必要性も提起され、参加者も熱心に聞いていました。参加者からは、「今年は国際協同組合年なので、さまざまな協同組合で共同して、検査体制や情報提供することができれば、スピードある復興対応ができるのではと思った」などの感想がだされました。分散会では、「入ってもすぐ辞める」「募集しても応募がない」と、各職場の深刻な欠員状況が浮き彫りになりました。2日目の分科会は、①模擬団交、②パート法・最賃・均等待遇を考える、③女性部交流会、④大学部会、⑤青年部会の5つに分かれて実施されました。



### 【関西地連】

冒頭、関西地連執行委員会を代表して宮沢寛委員長より、①昨年秋のたたかひの前進を評価し、今春闘も全力でたたかうこと、②今春闘の4大課題として原発ゼロ、消費税増税反対、TPP反対、沖縄普天間基地問題をたたかうことが、訴えられました。その後、山家悠紀夫氏（経済研究家）の学習会、生協労連春闘方針、地連春闘方針の具体化の提起がありました。特別報告では、なら、オレンジユープ、阪神地区統一、大学部会より発言があり、初日を終了しました。2日目は「パート」「青年」「大学」「春闘方針①」「春闘方針②」「組織拡大」「やさしい春闘講座」に分かれて学習と討論。全体会では、各分散会報告、まとめの後、「団結がんばろう」を三唱して閉会しました。



### 【九州地連】

地連春闘組合学校に九州各地から174人のなかまが集いました。冒頭、市原委員長の開会あいさつ、開催県代表・コープおおいた労組の安藤嘉洋委員長のあいさつに続いて、生協労連より春闘方針の提案が行われました。九州地連からは、①生協で働くすべての労働者の賃上げ、底上げ・ベースアップの実現、②すべての単組で時給1,000円以上の要求を掲げ、その実現をめざすこと、③すべての単組が要求（書）を提出し、賃金・労働条件の前進をめざすことを提起。2月9～10日の中央行動をはじめ、署名のとりくみなど、方針の補強及び行動提起も行われました。その後の分科会は11に分かれて実施されました。2日目は、「暮らしと経済の改善をめざす私たちの賃金闘争」と題して全労連常任幹事の伊藤圭一さんによる講演。各単組委員長の決意表明では、「厳しい状況に変わりはないが、賃金の底上げを要求していく、非正規のなかまの処遇改善など、力強い発言が続きました。

